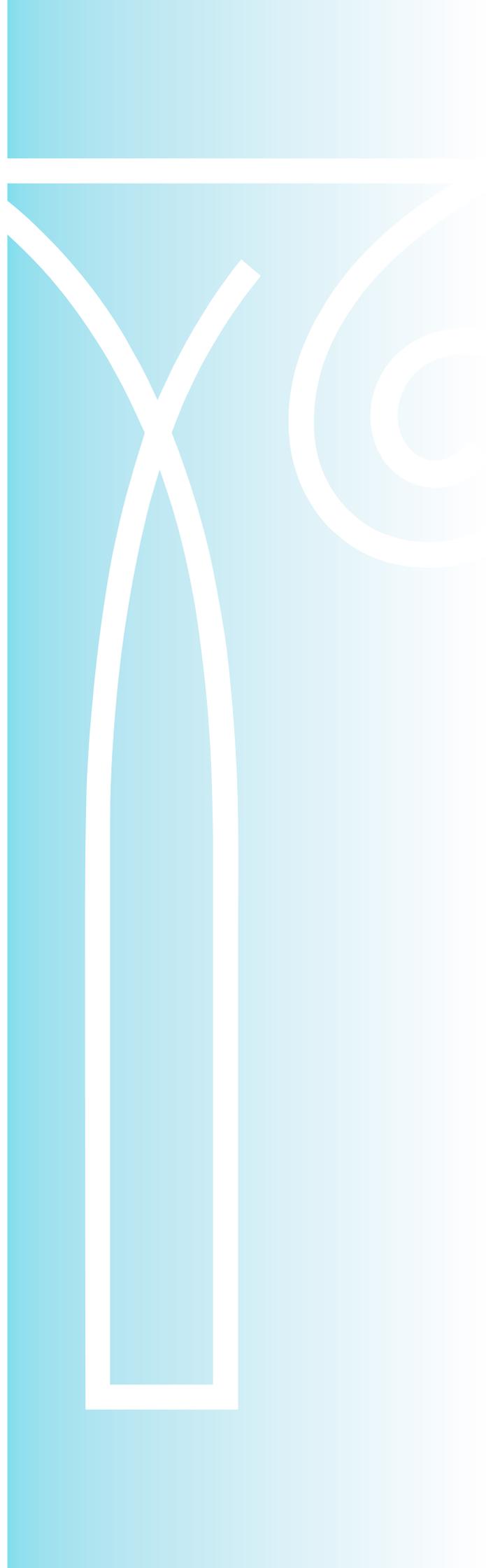


東京都庭園美術館
年報

2018

TOKYO METROPOLITAN TEIEN ART MUSEUM
Annual Report



はじめに

平成30年度は、西洋庭園整備、レストラン棟の竣工をもって、東京都施工の大規模改修工事が完成し、3月の総合開館式典を経て新たなスタートを切った一年でした。

展覧会事業では様々なジャンルの展覧会を「装飾芸術」の視点から捉え深めていくことを目標と定め、ヴァリエティに富んだ4つの展覧会を行いました。年度初めは、総合開館記念事業「アール・デコ リヴァイヴアル 建物公開展・フランスの絵本展」、夏季にはブラジル大使館と連携して実施した「ブラジル先住民の椅子展」、秋季には開館35周年記念事業「エキゾチック×モダン アール・デコと異境への眼差し」展、年度最後は、「フォトコラージュ岡上淑子展」を開催、どの展覧会も施設の魅力を活かした独自性の高い企画となり、リニューアルした庭園美術館ならではの鑑賞空間を創出しました。

一方、展覧会事業以外でも当館の恵まれた環境を活用したプログラムの充実に努めました。日本庭園の茶室「光華」を活用したプログラムは、外国人を含む初心者から上級者まで、どの回も定員を上回る応募者が集まり、茶道体験への関心の高さを伺うことができました。また、年間を通し定期的に開催している館長講座、庭園美術館コンサートなどを実施し、利用者の幅広い文化的関心に応えました。

来館者サービスでは、ホームページでの美術館情報を6カ国語対応とするなど多言語化を進めるほか、キャッシュレス化に対応し、入館券を電子マネーやカードで購入できるシステムを導入、外国のお客様にも利用しやすい環境を整えました。また、夏の夜間開館「サマーナイトミュージアム」の他、サクラや紅葉の最盛期の週末に夜間開館を行い、日中、美術館を訪れることの出来ない、学生や社会人の方々などから好評をいただきました。

今年度も、東京都庭園美術館は、文化財である建物と庭園を舞台に、芸術作品の鑑賞、及び各種文化事業を楽しめる他に類のないユニークな美術館として、東京の文化振興の一翼を担い、文化の活性化に寄与していきます。

2019年4月
東京都庭園美術館
館長 樋田豊次郎

目次

基本方針	1
平成30年度の東京都庭園美術館	2
各事業報告	
1. 建物・庭園公開事業	3
2. 企画展示事業	12
3. 紀要の発行	23
4. 教育普及事業等	24
5. 美術品の収集	27
6. 広報事業	28
7. 美術館維持管理	30
8. 収益事業	32
平成 30 年度の実績	
1. 入館者数	37
2. 広報・広告件数	37
3. 収益事業収入	37
4. 展覧会関連事業	38
5. 出版物	39
6. 各受賞	40
その他	
組織図	41
展覧会実績一覧	42
施設配置図	48

基本方針

1. 基本方針

東京都庭園美術館は、歴史的建造物と美術作品、庭園とが一体となった美術館として、歴史的価値の保護と新しい価値の創造を行い、都民に芸術作品の鑑賞の機会を提供し、東京都における芸術文化の振興を図るとともに、都民生活の充実に寄与していく。

1. 歴史的建造物の保存

国の重要文化財である旧朝香宮邸の建物と緑豊かな庭園を適正に管理し、その価値を広く社会に伝えていく。

2. 建物の特性を活かした美術館活動の実施

アール・デコ様式を今に伝える歴史的建造物とホワイトキューブの新館展示室との調和を図った多様な展覧会や教育普及活動を実施し、東京におけるユニークな美術館として旧朝香宮邸を活用していく。

3. 庭園の活用

都心には珍しい豊かな自然の残る庭園を整備するとともに、アートの視点からの活用を推進し文化的環境を創出していく。

2. 事業方針

東京都庭園美術館は下記の事業方針に基づき、質の高い事業を実施していく。

1. 重要文化財旧朝香宮邸の建物公開展を実施する。

2. アール・デコの美術および同時代の芸術文化を紹介する。

3. 装飾芸術における様々な分野を紹介する。

4. 東京都庭園美術館の歴史性あるいは空間的特色に基づいて、多様な芸術表現を取上げる。

平成30年度の東京都庭園美術館

平成30年

- 4月 「アール・デコ・リヴァイヴァル! 建物公開 旧朝香宮邸物語」
「鹿島茂コレクション フランス絵本の世界」平成29年度より継続
- 6日 春の夜間開館(～4月7日)
- 24日 外部評価委員会
- 25日 五感と想像力で歩く建築ツアー
- 27日 えどはくカルチャー(新館ギャラリー2)
- 28日 講演会「フランスの絵本 kawaii と B.D の起源」
- 5月 11日 えどはくカルチャー(新館ギャラリー2)
- 19日 講演会「宰相吉田茂が好んだアール・デコの館」
- 26日 講演会「ファッションのアール・デコ・リヴァイバル」
- 26日 五感と想像力で歩く建築ツアー
- 6月 1日 手荷物検査(試行)(～6月2日)
- 6日 第1回館長講座
- 17日 第1回、2回 庭園美術館コンサート(本館)
- 30日 「ブラジル先住民の椅子 野生動物と想像力」開幕(～9月17日)
- 7月 6日 ティーチャーズプログラム
- 7日 講演会「メイナク兄弟との出会い」
- 20日 サマーナイトミュージアム(夜間開館)27日も実施
- 29日 シンポジウム「ブラジル先住民の椅子、そして現代の美」
- 8月 1日 第2回館長講座
- 3日 サマーナイトミュージアム(夜間開館)10日・17日・24日・31日も実施
- 3日 ミニコンサート「音楽の庭 Music Garden」
- 11日 TTM イグニションボックス「野生の声帯」
- 25日 ワークショップ「粘土で作ろう!動物のオブジェ」
- 9月 8日 目黒のさんま祭り庭園無料公開
- 12日 自衛消防訓練
- 23日 第3回、4回庭園美術館コンサート(本館)
- 10月 6日 「エキゾティック×モダン アール・デコと異境への眼差し」開幕(～1月14日)
- 17日 第3回館長講座
- 20日 講演会「アール・デコ、植民地美術そして異境へのまなざし」
- 21日 第1回茶室ワークショップ
- 24日 第5回、6回庭園美術館コンサート(新館)
- 11月 4日 呈茶
- 3日 講演会「エキゾティック×モダン フランス最後の夢」
- 10日 講演会「アール・デコ」におけるエキゾティズム「他者」をめぐる魅惑と葛藤」
- 17日 第2回茶室ワークショップ(外国人向け)
- 23日 秋の夜間開館(～11月24日)11月30日及び12月1日・7日・8日も実施



- 12月 1日 第3回光華茶会
- 5日 第4回館長講座
- 26日 第7回、8回庭園美術館コンサート(新館)

平成31年

- 1月 9日 資料収集委員会
- 19日 第9回、10回庭園美術館コンサート(本館)
- 23日 自衛消防訓練
- 26日 「岡上淑子 フォトコラージュ 沈黙の奇蹟」(~平成31年4月7日まで)
- 2月 6日 第5回館長講座
- 24日 天皇陛下在位30年記念事業庭園無料公開
- 3月 3日 第3回茶室ワークショップ
- 21日 講演会「沈黙の薔薇」
- 24日 ワークショップ「あなたの指先でフォトコラージュ」
- 29日 春の夜間開館(~3月30日)
- 30日 第4回光華茶会

各事業報告

1. 建物・庭園公開事業

(1) アール・デコ・リヴァイヴァル! 建物公開 旧朝香宮邸物語



同時開催 鹿島茂コレクション フランス絵本の世界

期 間:2018年3月21日(水)~6月12日(火)[79日間/平成30年度中は69日間]

来館者数:63,346人(平成30年度69日間)

主 催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館、

協 力:朝日新聞フォトアーカイブ

年間協賛:戸田建設株式会社

担 当:神保京子

展示点数:約40点

【「鹿島茂コレクション フランス絵本の世界」】との同時開催

1933年に竣工したアール・デコの館——旧朝香宮邸——という建築そのものの魅力を堪能するための展覧会。本年度は、館の誕生から、戦後の吉田茂元首相の外務大臣公邸時代、そして日本で初めての迎賓館の時代を経て、東京都庭園美術館の開館に至るまでの建物の歴史を紹介し、この建築空間を往来した人々の記憶に迫ろうとした。

本展では、文化学園服飾博物館所蔵の朝香宮家ゆかりの服飾コレクションやアール・デコの時代のファッションを紹介し、旧朝香宮邸とアール・デコの時代背景を浮かび上がらせた。また、今まで具体的に紹介されることのなかった館に纏わる戦後の歴史を照射することで、時代に翻弄されながらも日本における外交の重要な舞台として機能した館の特質を浮かび上がらせ、報道の対象として注目を集めた館の軌跡を振り返ることで、広く一般への興味に繋がる側面を引き出すことができた。

【ハンドアウトの制作(日・英)・発行】

版型:A3二つ折

内容:「旧朝香宮邸物語」「フランス絵本の世界」共通会場見取図及び「旧朝香宮邸物語」作品リスト

デザイン:O design

【関連書籍の執筆・編集】

書名:旧朝香宮邸物語 東京都庭園美術館はどこから来たのか

発行所:合同会社アートダイバー

執筆者:青木淳子、板谷敏弘、大木香奈、岡部友子、神保京子、関昭郎、高波真知子、田中雅子、中原淳行、浜崎加織、樋田豊次郎、牟田行秀、森直義、八巻香澄、米山勇

【関連イベント】

a. 講演会「宰相吉田茂が好んだアール・デコの館」

講師:御厨貴(東京大学名誉教授)

開催日:2018年5月19日(土)14:00~15:30

会場:新館ギャラリー2

参加人数:82名



講演会「ファッションのアール・デコ・リヴァイヴァル」

講師：能澤慧子（東京家政大学名誉教授）

開催日：2018年5月19日（土）14:00～15:30

会場：新館ギャラリー2

参加人数：80名

b. ギャラリートーク

1) 担当学芸員による展示解説

トーカー：神保京子

開催日：2018年4月6日（金）14:00～

参加人数：24人

2) 英国からのインターン生による英語版展示解説

トーカー：ロイシン・イングルズビー

4月13日（金）14:00～

参加人数：18人

c. 関連講座「白金の歴史と庭園美術館のあゆみ」（えどはくカルチャー）

会場：東京都庭園美術館 新館 ギャラリー2

①「高松藩松平家の下屋敷とその周辺」

講師：市川寛明（江戸東京博物館 学芸員）

開催日：2018年4月27日（金）14:00～15:30

②「旧朝香宮邸―建築に纏わる物語」

講師：神保京子（東京都庭園美術館 学芸員）

開催日：5月11日（金）14:00～15:30／定員120名



(2) 旧朝香宮邸資料修復・復原

平成 26 年度に寄贈を受けた本館二階妃殿下居間・寝室の家具について、修復を行った。今回修復を行った資料は、今後の展覧会等で公開・紹介するなどしていく。

【修復・復刻】

修復	本館二階妃殿下居間・寝室家具の修復	1件
	[内訳]	
	・長椅子	1脚
	・安楽椅子	3脚
	・小椅子	2脚
	・椅子	1脚
	・オットマン	1脚





(3) ミュージアム・コンサート

クラシックのサロンコンサートを実施し、広く当館を知ってもらうきっかけとした。コンサートは毎回、ほぼ満席で、観客からの高評価を得られた。

【実施コンサート】

実施回数計：10回

参加者数計：903人



第1回 小川典子 ピアノ・リサイタル

開催日：6月17日(日) 14時開演

開催場所：本館大広間

参加人数：68人

第2回 松田理奈 ヴァイオリン・リサイタル

開催日：6月17日(日) 18時開演

開催場所：本館大広間

参加人数：52人

第3回 藤原真理 チェロ・リサイタル

開催日：9月23日(日) 14時開演

開催場所：本館大広間

参加人数：94人

第4回 松田華音 ピアノ・リサイタル

開催日：9月23日(日) 18時開演

開催場所：本館大広間

参加人数：86人

第5回 外山啓介 ピアノ・リサイタル

開催日：10月24日(水) 14時開演

開催場所：新館ギャラリー2

参加人数：110人

第6回 及川浩治 ピアノ・リサイタル

開催日：10月24日(水) 18時開演

開催場所：新館ギャラリー2

参加人数：97人

第7回 松本 蘭 ヴァイオリン・リサイタル

開催日：12月26日(水) 14時開演

開催場所：新館ギャラリー2

参加人数：84人

第8回 戸室 玄 ピアノ・リサイタル

開催日：12月26日(水) 18時開演

開催場所：新館ギャラリー2

参加人数：127人

第9回 鈴木 舞 ヴァイオリン・リサイタル

開催日：1月19日(土) 14時開演

開催場所：本館大広間

参加人数：93人

第10回 山根一仁 ヴァイオリ・リサイタル

開催日：1月19日(土) 18時開演

開催場所：本館大広間

参加人数：92人



(4) 庭園公開

レストランと西洋庭園が開館し、あらためて総合開館することで、様々な魅力を備えた庭園として来館者に公開した。
全ての工事が終了して、あらたに「庭園パスポート」を販売することで芝庭、日本庭園、西洋庭園それぞれ趣の異なる庭園と茶室を楽しんでいただいた。

庭園公開日数 333日

庭園のみ入場者数：64,499人

庭園パスポート

販売数 419枚

入園者数 4,895人





(5) 茶室活用

庭園公開事業の一環として、日本庭園内の茶室「光華」(重要文化財)の活用を行い、茶室建築及び茶の湯文化の普及に資した。

光華茶会

平成29年度から実施している広間を使ったいわゆる大寄せ形式の茶会で、一般公募により1席20名、1日6席実施。うち1回は英語ガイド付きで外国人優先としている。使用する道具は美術館が所持しているものを中心とする。毎回美術館の担当より茶室そのものの説明をし、文化財建築の普及にも努めている。



第3回

2018年12月1日(土)

場所 「光華」広間

亭主 武者小路千家 重窓

参加者 一般公募109名(6席、うち1席は英語ガイド付き)

参加費 1名1,000円(入館料別途)、事前申込制(各回定員20名×6回、先着順)

第4回

2019年3月30日(土)

場所 「光華」広間、小間の説明

亭主 武者小路千家 重窓

参加者 一般公募107名(6席、うち1席は英語ガイド付き)

参加費 1名1,000円(入館料別途)、事前申込制(各会定員20名×6回、先着順)



茶室ワークショップ

大寄せ茶会形式ではなく、お茶そのものにもっと親しみを持ってもらうために、実技や解説を交えたワークショップを実施した。本年度は「わび茶でおもてなし」と題し、抹茶に関する基礎知識を立礼席で説明したのち、広間にて抹茶の点て方、飲み方の実技を行った。最後に小間で講師から薄茶とお菓子が振舞われた。実技で使用した茶筌は持ち帰っていただき、このワークショップが日々の生活に活かされるようにした。



第1回

2018年10月21日(日)

場所 「光華」立礼席、広間、小間

講師 沼尻宗真(茶道家・陶芸家)、海老澤宗香(茶道家) どちらも裏千家

参加者 一般公募45名(午前・午後の2回)

参加費 1名3,000円(入館料別途)、事前申込制(各会定員15名×2回、先着順)

第2回 外国人向け

2018年11月17日(土)

場所 「光華」立礼席、広間、小間

講師 沼尻宗真(茶道家・陶芸家)、海老澤宗香(茶道家) どちらも裏千家
アリス・ゴードンカー

参加者 一般公募25名(午前・午後の2回)

参加費 1名3,000円(入館料別途)、事前申込制(各会定員15名×2回、先着順)

第3回

2019年3月3日(日)

場所 「光華」立礼席、広間、小間

講師 沼尻宗真(茶道家・陶芸家)、海老澤宗香(茶道家) どちらも裏千家

参加者 一般公募34名(午前・午後の2回)

参加費 1名3,000円(入館料別途)、事前申込制(各会定員15名×2回、先着順)



呈茶

光華茶会やワークショップはウェブサイトによる事前申込制だが、当日受付で、座敷ではなく椅子席の立礼席での喫茶を手軽に楽しむための呈茶を試行的に実施した。「茶室でお抹茶を」と題し、地元港区華道茶道連盟の協力のもと、地域の方々が参加しやすいものとした。



2018年11月4日(日)

場所 「光華」立礼席、広間

亭主 港区華道茶道連盟 石川宗鶴(裏千家)

参加者 立礼席 30名

広間 46名

参加費 立礼席 1名700円 広間 1名1,000円

情景再現

文化財建築の普及のため、通常開館日は立礼席まで立入りできるよう一般公開している。その中で広間には茶席の道具を配し、茶室の雰囲気味わってもらえるようにしている。配する道具は掛軸、花入れ、香合、茶碗、釜、茶筌、茶入れ、水指、建水等を展示し、季節に応じて展示替えを行っている。また季節に合わせて炉と風炉を入れ替えている。

茶室入室者:75,464人(茶会参加者を除く)



2. 企画展示事業

(1) 鹿島茂コレクション フランス絵本の世界



期 間：2018年3月21日(水)～6月12日(火) [79日間／平成30年度中は69日間]

来館者数：63,346人(平成30年度69日間)

主 催：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会

協 賛：ライオン、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜、日本テレビ放送網

後 援：在日フランス大使館／アンステイチュ・フランセ日本

協 力：ノエマ

年間協賛：戸田建設株式会社

担 当：浜崎加織

展示点数：約250点

【「建物公開 旧朝香宮邸物語」展との同時開催】

フランス文学者の鹿島茂氏が30年以上に渡り収集を続け、これまで秘蔵されてきたフランスの子どものための絵本コレクションを初公開する展覧会。19世紀半ばからアール・デコ時代に至るフランス絵本の黄金期を紹介した。

本展は群馬県立館林美術館との共同企画により、同氏が所蔵する絵本コレクションの調査を行い内容の充実を図り、世界的にも貴重なコレクションを紹介するまたとない機会となった。当館では特にアール・デコの時代に活躍したアンドレ・エレに着目し、「アール・デコ博覧会」とエレの関連についても紹介、当館のみで出品されたエレの作品もあり、庭園美術館での開催意義を打ち出すことができた。

【展覧会カタログ】



書 名：鹿島茂コレクション フランス絵本の世界

発 行 所：株式会社青幻舎

所収論文：鹿島茂(フランス文学者・明治大学教授)「フランス絵本文化の後発性およびそれゆえのアヴァンギャルド性について」、石橋正孝(立教大学助教)「〈驚異の旅〉の挿絵画家たち」、松下和美(群馬県立館林美術館)「モーリス・ブテ・ド・モンヴェルの絵本における時代性」、浜崎加織(東京都庭園美術館)「アール・デコとアンドレ・エレの玩具」、倉方健作(九州大学准教授)、「エミール・コールとバンジャマン・ラビエ」

【作品リストの制作】

版型：A3 二つ折、8 ページ

内容：「フランス絵本の世界」展作品リスト



【関連イベント】

a. 講演会「フランスの絵本—kawaii と B.D.(バンド・デシネ)の起源」

講師：鹿島茂(本展監修者・作品所蔵者)

開催日：2018年4月28日(土) 14:00～15:30

会場：新館ギャラリー2

参加人数：117名

b. ギャラリートーク

トーカー：浜崎加織

開催日：2018年5月18日(金)、25日(金)

参加人数：34名、31名





(2) ブラジル先住民の椅子—野生動物と想像力

期 間:2018年6月30日(土)～9月17日(月・祝)[75日間]
 主 催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館、日本経済新聞社
 特別協力:ベイ出版
 後 援:駐日ブラジル大使館
 協 力:CBMM
 年間協賛:戸田建設株式会社
 担 当:樋田豊次郎、大木香奈、浜崎加織
 来館者数:40,251人

概要

南米大陸、ブラジル北部のアマゾン河やシンゲー川流域で暮らす先住民の人びと。彼らの作る一木造りの椅子は、動物のフォルムや機能的なフォルムに独特な幾何学模様が施されており、ユニークな造形作品として捉えることができます。元々、先住民にとっての椅子は、日常生活の中で使用したり、シャーマンによる儀式や結婚式等の特別な機会に用いるなど、彼らの生活や伝統、独自の神話と色濃く結びついており、コミュニティ内の文化的・社会的なシンボルでもありました。それが今日、コミュニティの外との繋がりから刺激を受けて、自らのアイデンティティを自然を捉える眼に求め、用途や伝統に縛られないより多様かつ自由な表現が生まれてきています。

本展は、ベイ・コレクションによるブラジル先住民の椅子約90点を取り上げ、彼ら独自の感性から生まれた造形に、人間の豊かな想像力の発露を読み取ろうとするものです。

【展覧会カタログの企画・編集】



書名:ブラジル先住民の椅子
 発行:株式会社美術出版社
 所収論文:樋田豊次郎「アリクイの椅子」、
 中沢新一(野生の科学研究所)「モノの眼」
 カテゴリー解説:渋谷拓(埼玉県立近代美術館)
 民族解説:大木香奈

【ハンドアウトの制作・発行】

タイトル:ブラジル先住民の椅子展 ハンドアウト
 判型・ページ数:210×210mm、四つ折り
 執筆・編集:大木香奈
 デザイン:折原滋(O design)



【関連映像の制作】

a.《メイナク族と椅子》

出演：マイヤワリ・メイナク、ヤタピ・メイナク、樋田豊次郎

撮影：ラファエル・コスタ

編集：富田了平、東京都庭園美術館

b.《ブラジル先住民の椅子》

制作・編集・撮影：ベイ出版、ラファエル・コスタ

翻訳：國安真奈、東京都庭園美術館

【関連イベント】

a. 講演会「メイナクの兄弟との出会い」

開催日：2018年7月7日（土）

講師：樋田豊次郎館長

参加人数：80名

b. ギャラリートーク（計4回）

開催日：2018年7月27日（金）、8月24日（金）7月13日（金）、9月7日（金）

担当：大木香奈

参加人数：計151人（各回それぞれ18人、45人、40人、48人）

c. シンポジウム「ブラジル先住民の椅子—そして現代の美」

開催日：2018年7月29日（日）

登壇者：アンドレ・コヘーア・ド・ラーゴ（前駐日ブラジル大使）

伊東豊雄（建築家）

樋田豊次郎

参加人数：87名

d. ミニコンサート「音楽の庭—Music Garden—」（計2回）

開催日：2018年8月3日（金）

出演者：石田多朗（話）、中村かほる（演奏）

参加人数 130名





e. TTM イグニション・ボックス「野生の声帯」

開催日:2018年8月11日(土)

出演者:宇川直宏によるライブ・ストーリーミングプログラム

参加人数:90名

f. ワークショップ「粘土で作ろう!動物のオブジェ」

開催日:2018年8月25日(土)

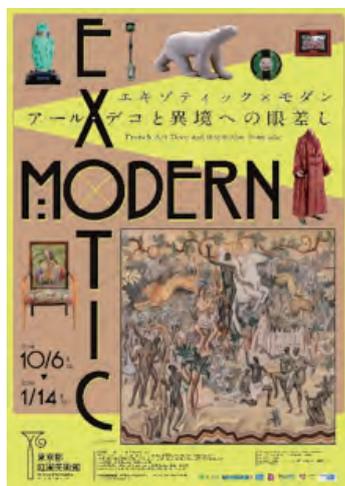
講師:藤田百合(エドユケーター、女子美術大学特命助教)

参加人数:17名





(3) エキゾティック × モダン アール・デコと異境への眼差し



期 間：2018年10月6日(土)–2019年1月14日(月・祝) [86日間]
 主 催：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館、
 美術館連絡協議会、読売新聞社
 協 賛：ライオン、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜、日本テレビ放送網
 協 力：日本航空、ルフトハンザ カーゴ AG
 後 援：在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ日本、
 日仏会館・フランス国立日本研究所
 年間協賛：戸田建設株式会社
 担 当：関昭郎、田中雅子
 来場者数：44,907人

概要

アール・デコのイメージ・ソースに着目し、それらに対立的なベクトルを持つモダニズム、古典主義、エキゾティシズムの三つに大別。それぞれの特徴と3つの融合から、何が生まれたかを様々な分野の装飾美術と建築、絵画、彫刻で検証することを目指した。2015年の「幻想絶佳：アール・デコと古典主義」に続く展覧会として企画。

ブローニュ＝ビヤンクール市の30年代美術館をはじめ、パリの装飾美術館、モビリエ・ナショナルなど、フランスの美術館所蔵品からの国内初公開作品を中心に、国内の作品を加えた96作品を展示。以下のように構成した。

- 1 モードのエキゾティシズム
- 2 装飾のエキゾティシズム
- 3 パリ国際植民地博覧会と植民地主義の表象
- 4 異境の再発見

特別展示1 ジョゼフィン・ベイカーとナンシー・キュナード

特別展示2 フランソワ・ポンボンと動物彫刻の流行

特別展示3 アール・デコ博覧会と旧朝香宮邸

セクション1、2では、ヨーロッパ外の文化がどのように同時代の関心を惹き、素材とモチーフ、色彩をどのように取り入れたのかを具体的な作例として紹介した。特にアール・デコ様式を生み出した先駆的存在として知られるポール・ボアレの中近東、極東ほかからインスピレーションを得た作品を集めた。また、アイリーン・グレイ、ジャン・デュナン、濱中勝らに漆の技法を教えた菅原精造の作品を初めて日本で紹介した。

セクション3では、1931年にパリで開催された植民地博覧会のもくろみとその背景にあった植民地主義を博覧会に関連する作品を通じて紹介した。

セクション4では、前回と同様にアカデミーの動きに着目し、植民地への美術家派遣の制度について、代表的な作家を取り上げ、同時に自動車メーカーであるシトロエンが行ったエポック・メイキングなアフリカ縦断プロジェクト「クロワジエール・ノワール」、アジア横断プロジェクト「クロワジエール・ジョーヌ」などの社会的なトピックを紹介した。セクション1,2では色濃かったエドワード・サイードの定義した想像のなかのオリエンタリズム的な傾向が、直接的な出会いによって、どのように変化したのかを見せた。



美術館連携の成果として、本展の巡回する群馬県立館林美術館のフランソワ・ポンポンのコレクションと当館の所蔵する博覧会関連資料を特別展示2, 3として加えた。

【展覧会カタログの企画・編集】

書名: EXOTIC X MODERN アール・デコと異境への眼差し

French Art Deco and inspiration from afar

判型・ページ数: A5 204ページ

編集・発行: 東京都庭園美術館、群馬県立館林美術館

所収論文: ドミニク・ジャラセ「芸術をめぐる植民地体系、及びアール・デコへのエキゾティシズムの使用方法」

平野千果子「戦間期フランスとパリ国際植民地博覧会」

関昭郎「アール・デコとエグゾティスム- 旧朝香宮邸の次の間はどうして漆塗りなのか?」

能澤慧子「ポール・ボワレの異境」

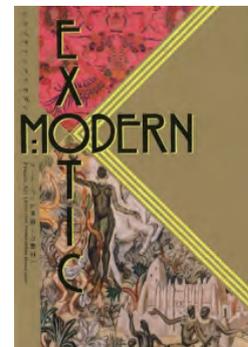
松下和美「両大戦間期の動物彫刻とエキゾティシズム」

エルベ・カベザス「1920-30年代のパリのエキゾティシズム」

吉澤英樹「アール・デコの時代のパリの黒人文化運動」

田中雅子「大戦間期、フランスの室内装飾におけるエキゾティック×モダン」

資料(作家解説、参考文献)



【ハンドアウトの制作・発行】

タイトル: 装飾は流転する「今」と向き合う7つの方法 ハンドアウト

判型・ページ数: A3二つ折り8ページ

執筆・編集: 関昭郎、田中雅子(東京都庭園美術館)、松下和美(群馬県立館林美術館)

【映像制作・上映】

作品名: ムニール・ファトゥミ《ヒューマン・ファクター》2018年、映像、15分56秒

Mounir Fatmi, The Human Factor, 2018, Video, 15' 56"

上映場所: ギャラリー2

内容:

本展のテーマを現代の視点から改めて捉えることを目的に、モロッコ生まれフランス在住の現代美術家ムニール・ファトゥミとのコラボレーションによって生まれた、本展のための新作映像作品。ムニールは、フェルナンド・レジェやロベール・マレス・テヴァン、ポール・ボワレが美術にかかわり、アール・デコのマニフェストとされているマルセル・レルビエによる無声映画『人でなしの女(L'inhumanie)』(1924年)を分解し、1931年のパリ植民地博覧会や当時のアール・デコに関するアーカイヴ資料、ジョセフィン・ベイカーをはじめ時代を象徴するようなイメージ、3Dアニメーションを織り交ぜながら、「身体(Body)」「機械(Machine)」「実験(Experiment)」の3部構成によって再構築した。





【関連イベント】

a. 講演会

「アール・デコ、植民地美術そして異境への眼差し」

2018年10月20日(土)14:00-

登壇者:ドミニク・ジャラセ(美術史家、ミシェル・ド・モンテーニュ=ボルドー第3大学教授)

会場:新館ギャラリー2

参加者数:112名

仏語・逐次通訳:宇都宮彰子

b. トーク

「エグゾティック×モダン フランス最後の夢」

2018年11月3日(土)14:00-

登壇者:フローラン・ダバディー(スポーツ&文化ジャーナリスト)

会場:ギャラリー2

参加者数:81名

c. 講演会

「アール・デコ」におけるエグゾティスムー「他者」をめぐる魅惑と葛藤」

2018年11月10日(土)

登壇者:天野知香(美術史家、お茶の水女子大学教授)

会場:ギャラリー2

参加者数:57名

d. ギャラリートーク

2018年11月9日(金)、11月19日(月)、12月7日(金)

各回15:00-16:00

参加者数:90名(3回合計)



【展示会場】



小客室 VCA製懐中時計、置き時計の展示



大広間 ルグラン《椅子》ほかの展示



大客室 ポール・ポアレのドレスほかの展示



大食堂 ポアレのドレスほかの展示



若宮居間 菅原精造の屏風ほかの展示



ギャラリー1 植民地美術ほかの展示



ジャン・デュナン《森》モリエール・ナショナル蔵



ギャラリー1 ムニール・ファトゥミ《ヒューマン・ファクター》上映



岡上淑子 フォトコラージュ 沈黙の奇蹟



期 間：2019年1月26日（土）～4月7日（日）

[61日間／平成31年度中は7日間]

来館者数：40,776人（平成31年度7日間 7,367人）

主 催：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館

協 力：The Third Gallery Aya

年間協賛：戸田建設

担 当：神保京子、大木香奈、巖谷睦月

概要

1950年代に彗星のごとく現われ、フォトコラージュ作品によって瀧口修造に見出され、その才能を開花させた岡上淑子（1928～）。本展は、作家が活動した地である東京の公立美術館における初の回顧展として開催された。出品作品は、収蔵後初の里帰り展示となった米国ヒューストン美術館所蔵の12点のフォトコラージュ作品をはじめ、慶應義塾大学アートセンター及び多摩美術大学 瀧口修造文庫所蔵の瀧口修造関連資料、作家に影響を与えたマックス・エルンストのコラージュ・ロマン3部作（うらわ美術館所蔵）、作家自身によるストレートフォト作品やスケッチ、日本画、さらに参考展示として京都服飾文化研究財団所蔵の同時代のドレス等を展示。シュルレアリスムの文脈における作家の位置とコラージュの特質を解き明かしながら、その活動の全貌に迫ろうとした過去最大規模の個展となった。

【展覧会カタログ・関連書籍】

書名：岡上淑子 フォトコラージュ 沈黙の奇蹟

発行所：株式会社青幻舎

所収論文：神保京子「沈黙の薔薇 岡上淑子—鎮魂と祝祭のコラージュ」



【ハンドアウト】

タイトル：岡上淑子 フォトコラージュ 沈黙の奇蹟

判型・ページ数：A3二つ折り4ページ

編集：巖谷睦月



【関連イベント】

a. 講演会

作品発表からおよそ半世紀を経て再評価され、熱い注目を集める本作家の活動を、約20年間に渡って紹介してきた本展企画者による講演会を開催した。

登壇者：神保京子

演題：「沈黙の薔薇—岡上淑子の視覚世界」

開催日：2019年3月21日（木・祝）

会場：新館ギャラリー2

参加人数：130名

b. ギャラリー・トーク

トーカー：巖谷陸月

開催日：2019年2月22日（金）

参加人数：57名

c. ワークショップ「あなたの指先で フォトコラージュ」

開催日：2019年3月24日（日）

参加人数：11名

講師：神保京子、巖谷陸月、肥前新菜（東京都庭園美術館インターン）

内容：コラージュ誕生の歴史を踏まえ現在の雑誌を用いてコラージュを制作するワークショップを実施した。





3. 紀要の発行

「東京都庭園美術館紀要 2018」の刊行



所収原稿：シンポジウム：ブラジル先住民の椅子—そして現代の美

『アイデンティティの黄昏』樋田豊次郎(東京都庭園美術館 館長)

『先住民の文化、そのブラジル現代建築への影響』

アンドレ・コーア・ド・ラーゴ(前駐日ブラジル大使)

『内なる自然』伊藤豊雄(建築家)

「アール・デコ」におけるエクゾティスム—「他者」をめぐる魅惑と葛藤

天野知香(お茶の水女子大学 教授)

発行方法：ウェブサイトおよび印刷物で公開



4. 教育普及事業等

(1) ウェルカムルーム運営

来館者一人一人が能動的に美術館体験を楽しむための、ラーニング・プログラムの拠点。カンパセーション・テーブル「さわる小さな庭園美術館」、建築紹介の音声ガイドとしても使えるアプリのためのタブレット端末、本棚、ワークシートなどが設置されており、展覧会鑑賞前後にのんびり過ごす空間として親しまれている他、学校団体などの受け入れや、ワークショップの会場としても活用。

利用者数：31,696人(開館日数 291日)

(2) 館長講座

展覧会や建物公開とは直接関連せず、もっとひろく美術あるいは美術館の愛好者を増やしていくことを目標として、平成30年度から館長講座を開催した。年間を通してテーマを決め、毎回そのテーマに沿った作品を取り上げながら、館長独自の視点で講座を行う。座学ではあるが、いわゆる教室での授業のような雰囲気ではなく、もっと楽しく親しみやすいものとするため、また当館の財産ともいえる庭園のロケーションを活かすために、講座の場所は西洋庭園を臨むレストランとした。

実績

【館長講座「私の愛した世界の美術5選」】

1回：2018年6月6日(水)

ジョルジュ・スーラ《グランド・ジャット島の日曜日》

1884-86年制作、油彩、シカゴ美術館蔵

8回印象派展(1886年、最終回)出品

Georges Seurat:1859年12月2日~1891年3月29日

受講者 34人

2回：2018年8月1日(水)

ドナテッロ《ガットメラータ将軍騎馬像》

1453年制作、ロストワックス技法

サンタントーニオ・ダ・パードヴァ聖堂前サント広場、パドヴァ

Donatello:1386年頃~1466年12月13日

受講者 23人

3回：2018年10月17日(水)

内藤春治《壁面への時計》

1926年制作、蠟型鋳造、東京国立近代美術館工芸館蔵

8回帝国美術院展出品(1926年)

内藤春治:1895(明治28)年4月1日~1979年5月23日

受講者 19人



4回：2018年12月5日(水)

ジョット《聖人フランチェスコの生涯 28場面》

1884-86年制作、フレスコ、サン・フランチェスコ大聖堂、アッシジ

Giotto di Bondone:1267年頃～1337年1月8日

受講者 35人

5回：2019年2月6日(水)

アンドリュー・ワイエス《クリスティーナの世界》

1948年制作、テンペラ、パネル、ニューヨーク近代美術館蔵

Andrew Wyeth:1917年7月12日～2009年1月16日

受講者 45人

実施概要

実施場所 東京都庭園美術館敷地内 レストラン デュ・パルク

時間 毎回 14:30～16:00(90分)

講師 東京都庭園美術館館長 樋田豊次郎

定員 各回40人

参加費 1人 1,200円(ソフトドリンク付)

申込方法 当館ウェブサイトによる募集(先着順)



(3) ワークショップ等

「五感と想像力で歩く建築ツアー」

本館建築を五感と想像力を駆使して鑑賞するプログラム

参加費無料・事前予約制

ウェルカムルームにて「さわる小さな庭園美術館」を使って対話をし、その対話の内容にあわせて見学する部屋や体験内容が変わる。光や空気の流れなどを敏感に感じ取ったり、ここで聴こえていたはずの音楽やディナーの匂いを想像したりと身体感覚と記憶を呼び起こしながら、参加者同士で対話をし、さまざまな発見を行う。歴史や建築技法の解説ツアーとは異なる、建築体験を提案。

開催日：2018年4月25日(木)14:00～16:00 参加者数 19名

ファシリテーター：八巻香澄(東京都現代美術館)

2018年4月25日(木)18:30～20:30 参加者数 10名

ファシリテーター：ロイシン・イングルスピー(当館インターン)

2018年5月26日(木)18:30～20:30 参加者数 21名

ファシリテーター：八巻香澄(東京都現代美術館)





(4) 財団連携事業

財団連携事業の一環として、江戸東京博物館の「えどはくカルチャー」の講座を当館「旧朝香宮邸物語展」の開催に合わせて以下のとおり実施した。

えどはくカルチャー 「白金の歴史と庭園美術館のあゆみ」

第1回 「高松藩松平家の下屋敷とその周辺」

日時:2018年4月27日

場所:東京都庭園美術館ギャラリー2

講師:市川寛明(東京都江戸東京博物館 学芸員)

受講者:108人

第2回 「旧朝香宮邸 - 建築に纏わる物語」

日時:2018年5月11日

場所:東京都庭園美術館ギャラリー2

講師:神保京子(東京都庭園美術館 学芸員)

受講者:100人

(5) 学校団体見学等受け入れほか

a. 学校団体見学

1	2018年7月17日	品川区立第三日野小学校 6年生	124名
2	2018年9月10日	日本女子大学博物館実習に伴う見学	15名
3	2018年9月23日	首都大学東京美術博物館実習に伴う見学	9名
4	2018年12月14日	港区立白金小学校 4年2組	31名
5	2018年12月17日	港区立白金小学校 4年3組	33名
6	2018年12月19日	港区立白金小学校 4年1組	32名

b. その他

公益財団法人 東京都歴史文化財団 連携事業

「学校と文化施設をつなぐティーチャーズプログラム2018」

実施日:2018年7月26日

会場: 東京都庭園美術館 ウェルカムルーム、スタジオ

内容: ウェルカムルーム内のとくに「さわる小さな庭園美術館」の説明とたてもの文様帖の体験



5. 美術品の収集

幅広い分野から、当館の収集方針に沿う質の高い作品及び資料を収集することができた。いずれも今後の展覧会での積極的な活用が期待されている。

【購入】

名称：プレスレット

作者：バンスラン

制作年：1924年

素材・技法：ダイヤモンド、プラチナ

サイズ：18.6×2.6×0.5 cm

【寄贈】

名称：朝香宮家旧蔵資料一式

内容：写真他

数量：82件104点



1. [購入]プレスレット／2～6. [寄贈]朝香宮家旧蔵資料一式のうち一部



6. 広報事業

今年度もウェブサイトとSNSを活用した広報を中心に展開し、昨年度に引き続き多言語対応も行った。

まず毎月に行っているウェブサイト及びSNSのログ解析の結果、台湾及び台湾人からのアクセスが英語と韓国語に次いで安定的に多いことから、これまで対応していなかった繁体字の充実に努めた。ウェブサイトに繁体字を追加したほか、これまで日・英のみであった「ご案内」について、繁体字を含め、仏・簡体字・韓国語版を追加した。また在日台湾人の方による当館体験のモニター記事をネットとSNSで拡散するプロモーションも行った。外国人プレス向けには「アール・デコと異境への眼差し」展において英語ネイティブによるリリースの作成とプレスツアーを実施し、集客に結びつけた。また交通広告等でも利用できるPR動画(無声、30秒)のテロップを多言語化し、ウェブサイトの各言語ページにアップした。

取材や記事掲載に対しては、媒体や記事の大小に関わらず丁寧に対応することで、媒体への継続的な露出に結びつけるようにした。

【実績】(※3月末現在)

TV・ラジオ放送件数…………… 8件

- ①NHK「日曜美術館アートシーン」:「旧朝香宮邸物語/フランス絵本の世界」展、「ブラジル先住民の椅子」展、
「アール・デコと異境への眼差し」展、「岡上淑子」展
- ②BS日テレ「ぶらぶら美術・博物館」:「フランス絵本の世界」展
- ③BS朝日「美の巨人たち」:旧朝香宮邸の建築意匠の紹介

新聞掲出件数…………… 46件 ※は展覧会評

- ①「旧朝香宮邸物語/フランス絵本の世界」展 朝日新聞、毎日新聞、読売新聞等
- ②「ブラジル先住民の椅子」展 日本経済新聞、※朝日新聞、※毎日新聞等
- ③「アール・デコと異境への眼差し」展 ※日本経済新聞、東洋経済日報、Japan Times等
- ④「岡上淑子」展 東京新聞、日本経済新聞、※朝日新聞、※高知新聞、※信濃毎日新聞、Japan Times等

雑誌掲出件数…………… 201件

雑誌はインフォメーションが中心であるが、近年ネットでの記事で、フリーのライターが実際に展覧会を見てその感想を比較的長く書くものが増えている傾向がある。

外国人プレス向け内覧会

2018年10月5日(金)「アール・デコと異境への眼差し」展 参加者25名

掲載実績 Tokyo Weekender(英)Metropolis(英)Ways to Japan(独)MID&PLUS(英)等

Webサイト アクセス数…………… 3,616,918件

SNS 投稿数…………… 252回(ツイッター105/フェイスブック90/インスタグラム57)

美術館前バナー 1か所…………… 更新回数3回

目黒通りバナー 18か所…………… 更新回数3回



展覧会プレスリリース発送数

ブラジル先住民の椅子展	666件
アール・デコと異境への眼差し展	651件
岡上淑子展	655件

展覧会プレス内覧会参加者数

ブラジル先住民の椅子展	60人
アール・デコと異境への眼差し展	通常35人 外国人向け25人
岡上淑子展	62人



7. 美術館維持管理

平成 30 年度は、展覧会、庭園合わせて約 24 万人の来館者を迎えたが、警備や受付・監視業者の努力もあり大きな混乱もなく来館者が安全・快適に鑑賞できるような美術館の体制を築けている。年に数回発生するクレーム等については、委託業者を含めた館を挙げて誠実にまたすみやかに対応するよう心がけている。

1) 設備点検・清掃

収蔵庫、本館・新館展示室等の適切な空調管理のための日常点検、快適な展示スペース確保のための清掃を行った。

2) 館内連絡会等の定期開催

館内連絡会の定期開催により、館と業者のみならず、各業者間の連携・協力体制を確立し、課題検討、来館者サービスの向上に努めた。

3) キャッシュレス対応

9 月下旬から、展覧会・庭園チケット料金のキャッシュレス化を行った。使用可能なクレジットカードは、VISA、MASTER、JCB AMEX、ダイナース、ディスカバー、銀聯に対応、電子マネーでは、各種交通系カード、nanaco、楽天 Edy、WAON、QUICPay、J デビット等に対応している。

4) 工事・修繕等

- ・庭園彫刻(安田侃「風」)照明増設工事
- ・本館 2 階ホール照明の落下防止対策
- ・本館複層ガラス化工事
- ・本館鋼製建具補修工事(応急処置)
- ・茶室外壁補修(一部)
- ・その他、適宜不具合対応に努めた

5) 本館結露対策

国の重要文化財である本館は秋から冬にかけての結露が酷く、S8 年竣工時の建具等の腐食や劣化を促進させていることが長年の懸案事項であったが、平成 29 年度に小食堂・喫煙室の 2 部屋窓ガラスに対し、旭ガラス製「アトッチ」を既存窓ガラス(S58 年取付)の上から取付けた。それにより、結露を軽減することができ、一定の効果が確認されたため、平成 30 年度も引き続き取付工事を実施した。

平成 30 年度は、第一応接室・妃殿下居間・姫宮居間・姫宮寢室の S58 年取付既存ガラスの上に取り付けた。平成 31 年度も継続的に取付工事を行う予定である。

6) ウィンターガーデンの再公開

平成 30 年 3 月 21 日から再公開したウィンターガーデンを、建物公開期間中継続して公開した。再公開にあたっては来館者の安全に配慮するため係員を配置し入室者の制限を行う中での公開であったが、大変好評を得て多くの客様に鑑賞いただき、アンケートには再公開を喜ぶコメントが多数散見された。また、NHK ニュースにも取り上げられるなどしている。



7)防災訓練の実施

第1回：平成30年9月12日(水)実施／第2回：平成31年1月23日(水)実施

8)東京都庭園改修工事への連携・協力

工事定例会に参加し、館の立場から来館者の利用しやすい施設となるよう情報提供し、工事に連携・協力した。

東京都庭園美術館(30)パーゴラ修理工事

工期 平成30年7月17日～平成31年3月26日

パーゴラ修理工事では、経年により腐食した本館1階小食堂前テラスのパーゴラ(藤棚)の修理工事を実施した。健全なオリジナル材(チーク)を最大限に使用しながら補修材(チーク・アサメラ)を用い補修している。また、本館付属物であるパーゴラとともに、庭塀の補修工事も実施し丸枠の補修や亀裂の激しい庭境塀の補修を行った。



「本館2階ホール照明の落下防止対策」
施工の様子



再公開したウインターガーデン



東京都工事で補修完了したパーゴラ



8. 収益事業

(1) ミュージアムショップの運営

新館1階 NOIR(ノワール)及び正門横 BLANC(ブラン)の2店舗のミュージアムショップでは、来館者等にオリジナル商品、展覧会図録やグッズ、各種書籍やアート関連商品等を販売している。

それぞれの場所と来館者のニーズに合わせ、NOIR では展覧会毎のオリジナルや関連グッズを中心として販売し、BLANC では当館のオリジナルグッズのほかさまざまなギフト商品を取り扱い、また展覧会や季節に合わせたフェアやイベントを行うなど、2店舗の差異化を図って購買意欲を高めるよう努めた。

【実績】

NOIR(ノワール)/ 新館1階

購入客数：36,607人

営業日数：301日

営業時間：10：00～18：00

定休日：毎月第2・第4水曜日(祝日の場合は営業、翌日休み)、年末年始、展覧会準備期間

BLANC(ブラン)/ 正門横

購入客数：11,679人

営業日数：343日

営業時間：10：00～18：30

定休日：毎月第2・第4水曜日(祝日の場合は営業、翌日休み)、年末年始

事業者：美術出版エデュケーショナル(NOIR、BLANC とも)

実施したフェア/イベント

イベント名	開催店舗	開催期間
フローベルグ アンティーク&オールドPOP-UP	BLANC	2018/4/26～6/12
大人のサマーパーケーションGFC POP-UP	BLANC	2018/6/14～9/11
パドンニ 気軽に贈れる貰って嬉しいギフト (レストランとコラボ カフェにて提供)	BLANC	2018/9/13～10/23
SAKURAWAQS 伝統に裏打ちされた日本の美	BLANC	2018/10/25～12/25
ルドゥーテギャラリー/グッズPOP-UP	BLANC	2018/12/27～2019/2/12
HARIO POP-UP	BLANC	2019/2/14～3/26

期間限定イベント NOIR/BLANCにて開催 配布場所 BLANC

ハロウィンイベント

ご購入のお客様へお菓子の詰合せ配布

配布数量：700個

期間：2018/10/20～10/31 内 週末8日間



X' mas イベント

ご購入のお客様へオリジナルマスキングテープ配布

配布数量：350 個

期間：2018/12/15～25 内 週末7日間

年始イベント

ご購入のお客様へソフトドリンク配布

配布数量：100 個

期間：2019/1/5～6 2日間限定



(2) レストラン、カフェの運営

2018年3月21日にオープンした正門横のレストラン「Du Parc」(デュ パルク)は、西洋庭園と本館側がサッシュレス全面ガラスの開放感ある建物で、フレンチをベースにランチからディナーまで提供している。ロケーションの良さだけでなく、コース料理を比較的リーズナブルな料金で味わえることや、美術館のチケットがなくても利用できることなどから、とくにランチはたいへん盛況であり、予約も取りづらい状況となっている。新館1階のカフェ「café TEIEN」(カフェ庭園)は、レストランと同一の事業者が営業を行っている。とくにオリジナルのスイーツが充実しており、それぞれの展覧会に合わせたスイーツは見栄えの良さからインスタグラムに多くアップされている。

【実績】

レストラン「Du Parc」

利用者数：34,222人

営業日数：337日

事業者：ロアラブッシュ株式会社

営業時間：ランチ 11：00～14：00

カフェ 14：00～17：00

ディナー 17：00～20：00*閉店は22：00

定休日：毎月第2・第4水曜日(祝日の場合は営業、翌日休み)、
年末年始

席数：52席(テーブル44席/カウンター8席)



カフェ「café TEIEN」

利用者数：23,214人

営業日数：290日

事業者：ロアラブッシュ株式会社

営業時間：10：00～18：00

定休日：毎月第2・第4水曜日(祝日の場合は営業、翌日休み)、
年末年始、展覧会準備期間

席数：34席(屋内22席/テラス12席)





展覧会コラボメニュー



ピカントショコラ(ブラジル先住民の椅子展)



赤カプのポタージュ(岡上淑子展)



RoBE ロープ(岡上淑子展)



ユニークベニュー事業

昨年度から、歴史的建造物や文化施設等で、会議やイベント、レセプション等を開催することで、特別感を演出できる会場となるユニークベニュー事業を開始した。

平成30年度実績

(1) 事業名 「GUCCI LOCAL BRAND EXPERIENCE-GARDEN PARTY」

日時：2018年7月5日(木) 19:00～22:00

主催：株式会社 ケリング ジャパン グッチ デイビジョン

運営：株式会社 SUN デザイン研究所

概要：有名ブランド、Gucci の日本法人主催による顧客のためのガーデンパーティー。当館のレストラン「デュ パルク」とその前にあるガーデンテラスを使用して開催した。また西洋庭園は緑のライトアップが施された。

会場：東京都庭園美術館 レストラン「デュ パルク」、ガーデンテラス、西洋庭園

来場者数：50人

(2) 事業名：Van Cleef & Arpels Evening Conversation

日時：2019年1月13日(日) 16:00～21:00

主催：リシュモン ジャパン株式会社

運営：株式会社サルインターナショナル

概要：ジュエリーと宝飾芸術の学校であるレコールは、Van Cleef & Arpels の支援により2012年にパリで創設された。パリに本拠を置く一方、「特別講座」を香港、ドバイ、ニューヨーク等世界各地で開催し、2019年は東京にある京都造形芸術大学外苑キャンパスで実施する。カリキュラムに沿った講座のほか対話型セミナーの「イブニングカンパセーション」を行っており、今回はその会場として東京都庭園美術館が使用された。

会場：東京都庭園美術館 レストラン「デュ パルク」及びガーデンテラス

受講者数：第1部 16:15～17:45 39名

第2部 19:00～20:30 33名

(3) 事業名 サンフランシスコ近代美術館ディレクターズサークルディナー

日時：2019年3月28日(木) 18:00～21:00

主催：サンフランシスコ近代美術館ディレクターズサークル

運営：PMP JAPAN 株式会社

概要：サンフランシスコ近代美術館ディレクターズサークルは、美術館に対する寄附やサークルの年会費等により美術館の運営を支えているグループ。会員の中には世界的なトップコレクターも多い。毎年トリップを行っており、今回は一週間日本に滞在し、東京、東京近郊と直島を訪れる予定。日本のアートに限らず、様々な文化に触れることで、今後の展覧会プログラミングやコレクション収集を検討するという。当館におけるディナーはこのツアーの初日になる。

会場：東京都庭園美術館 レストラン「デュ パルク」、ガーデンテラス

来場者数：40人

平成30年度の実績

1. 入館者数

(単位:人)

事項	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	年間目標	前年同期累計	組織目標計画対比	
企画展	フランスの絵本の世界、建物公開展	17,138	23,737	14,348									55,223	42,000	-	131.5%	
	ブラジル先住民の椅子			870	9,939	15,370	14,072						40,251	45,000	-	89.4%	
	エクゾティック×モダン						11,830	14,491	11,252	7,334			44,907	51,000	-	88.1%	
	岡上淑子									2,967	12,048	18,394	33,409	47,000	-	71.1%	
	観覧者 合計	17,138	23,737	15,218	9,939	15,370	14,072	11,830	14,491	11,252	10,301	12,048	18,394	173,790	185,000	51,738	93.9%
庭園のみ入場者	6,538	6,188	5,628	2,651	3,871	6,496	6,897	8,206	5,149	2,923	3,591	6,361	64,499	66,600	15,565	96.8%	
その他入館者	展覧会に伴う講演会	117	265		167			112	138	0	0	130	929	400	83	232.3%	
	展覧会ギャラリートツアー等	43	65		63	40	48		35	35	0	57	386	150	35	257.3%	
	ワークショップ等	29	21			17		45	24	0	0	0	181	210	18	86.2%	
	ミュージアム・コンサート			120			180	207		211	185	0	903	650	516	138.9%	
	その他イベント	108		34		243	108		76	144	0	45	107	865	800	219	108.1%
	その他入館者合計	297	351	154	230	300	336	364	273	390	185	102	282	3,264	2,210	871	-
入館者 総合計	23,973	30,276	21,000	12,820	19,541	20,904	19,091	22,970	16,791	13,409	15,741	25,037	241,553	253,810	68,174	95.2%	

※その他入館者は、館主催の自主事業利用者数とする。

・展覧会に伴う講演会は、各館共通事項とする。

・上記以外の事業は各館個別の呼称で記載する。

外国人入館者	企画展	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	対比	
	庭のみ	108	97	136	66	85	130	109	126	119	71	62	125	1,234	-	84	-
茶室公開		8,245	10,582	6,397	3,421	4,979	5,870	5,443	7,215	5,215	4,139	4,329	5,459	71,294	-	22,674	-

2. 広報・広告件数

(単位:円)

事項	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期比
マスコミ	TV・ラジオ放送件数	1	2	0	1	1	1	1	0	1	0	0	0	8	133.3%
	新聞掲出件数	8	2	3	6	5	4	3	1	2	5	5	2	46	328.6%
	雑誌等掲出件数	5	2	10	29	25	18	18	8	20	19	33	14	201	135.8%
ホームページ	アクセス件数(PV)	375,965	440,822	315,581	243,979	313,550	270,620	284,172	275,009	258,230	267,501	253,580	317,909	3,616,918	203.0%
ツイッター	フォロー数	109,270	109,584	109,454	109,870	110,135	110,592	111,170	111,555	112,126	112,702	113,018	113,506	1,332,982	205.9%

3. 収益事業収入

(単位:円)

管理手数料及び売上高	事項	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期比
MS管理手数料	MS管理手数料	847,845	1,094,874	968,669	540,236	802,737	830,136	378,000	423,882	378,000	480,142	858,049	1,353,491	8,956,061	360.7%
	飲食施設管理手数料	1,184,760	1,285,002	1,184,760	1,184,760	1,184,760	1,184,760	1,184,760	1,396,688	1,184,760	1,184,760	1,184,760	1,235,580	14,580,110	773.0%
	駐車場売上高	384,500	494,500	351,500	239,500	414,500	360,000	289,000	437,800	301,000	195,500	195,000	303,200	3,966,000	407.4%
	自販機管理手数料	24,776	29,076	29,244	24,947	26,929	25,002	25,099	24,958	24,300	24,644	24,179	26,147	309,301	107.1%
	計	2,441,881	2,903,452	2,534,173	1,989,443	2,428,926	2,399,898	1,876,859	2,283,328	1,888,060	1,885,046	2,261,988	2,918,418	27,811,472	472.2%

※ミュージアムショップ・飲食施設等は平成29年度5-10月まで改修工事期間

※フォロー数を集計はH29年9月から開始

(参考)ミュージアムショップ売上高

(税抜)

MS売上高	事項	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期比
MS売上高	開店日数	28	29	28	29	29	28	29	28	25	25	26	29	333	262.2%
	売上高(円)	8,167,716	10,553,095	9,246,747	5,162,121	7,626,167	7,836,979	4,015,321	4,842,213	3,905,486	4,639,238	8,081,327	12,762,540	86,838,950	354.1%
	購買客数(人)	5,169	6,732	5,196	2,540	3,691	3,606	2,495	2,856	2,433	2,685	4,234	6,745	48,382	332.1%
	1日平均売上金額	291,704	363,900	330,241	178,004	262,971	279,892	138,459	172,936	156,219	185,570	310,820	440,088	260,778	200.1%
	1人平均購買金額	1,580	1,568	1,780	2,032	2,066	2,173	1,609	1,695	1,605	1,728	1,909	1,892	1,795	109.4%

※各展覧会ごとの特設売店の設置手数料及び購買客数も含む

※ミュージアムショップは平成29年度5-10月まで改修工事期間



(参考) 飲食施設売上高

(税抜)

飲食施設 売上高	事 項	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年 同期比
	開店日数	28	29	28	29	29	28	29	29	28	25	25	26	29	333
売上高(円)	10,277,697	11,898,175	9,440,600	7,690,398	8,171,566	8,299,497	9,135,421	12,932,304	9,905,217	7,277,968	8,005,103	11,440,571	114,474,517	789.8%	
飲食客数(人)	6,007	7,094	4,602	3,555	4,648	4,330	5,074	5,808	4,058	3,072	3,725	5,496	57,469	671.6%	
1日平均売上金額	367,061	410,282	337,164	265,186	281,778	296,411	315,015	461,868	396,209	291,119	307,889	394,502	343,767	86.9%	
1人平均飲食金額	1,711	1,677	2,051	2,163	1,758	1,917	1,800	2,227	2,441	2,369	2,149	2,082	1,992	114.9%	

※各展覧会ごとの特設売店の設置手数料及び購買客数も含む

※飲食施設等は平成29年度5-10月まで改修工事期間

4. 展覧会関連事業

事業名	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
展覧会に伴う講演会	実施事業数	1	3	0	2	0	0	1	2	0	0	0	1	10
	延実施日数	1	3	0	2	0	0	1	2	0	0	0	1	10
	延実施回数	1	3	0	2	0	0	1	2	0	0	0	1	10
	延参加人数	117	265	0	167	0	0	112	138	0	0	0	130	929
展覧会ギャラリーーツ アー等	実施事業数	2	2	0	2	1	1	0	1	1	0	1	0	11
	延実施日数	2	2	0	2	1	1	0	2	1	0	1	0	12
	延実施回数	2	2	0	2	1	1	0	2	1	0	1	0	12
	延参加人数	43	65	0	63	40	48	0	35	35	0	57	0	386
ワークショップ等	実施事業数	1	1	0	0	1	0	1	1	0	0	0	2	7
	延実施日数	1	1	0	0	1	0	1	1	0	0	0	2	7
	延実施回数	1	1	0	0	1	0	2	2	0	0	0	3	10
	延参加人数	29	21	0	0	17	0	45	24	0	0	0	45	181
ミュージアム・コン サート	実施事業数	0	0	2	0	0	2	2	0	2	2	0	0	10
	延実施日数	0	0	1	0	0	1	1	0	1	1	0	0	5
	延実施回数	0	0	2	0	0	2	2	0	2	2	0	0	10
	延参加人数	0	0	120	0	0	180	207	0	211	185	0	0	903
その他イベント	実施事業数	1	0	1	0	3	0	1	1	2	0	1	1	11
	延実施日数	1	0	1	0	3	0	1	1	2	0	1	1	11
	延実施回数	1	0	1	0	4	0	1	3	2	0	1	6	19
	延参加人数	108	0	34	0	243	0	19	76	144	0	45	107	776

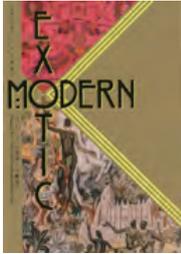
※記載する事業について

- ・ 展覧会に伴う講演会は、各館共通事項とする。
- ・ 上記以外の事業は各館個別の呼称で記載する。

※随時体験型イベントの実施回数は1回/月とみなす。



5. 出版物

	<p>旧朝香宮邸物語発行数 平成30年3月28日 発行 編集 東京都庭園美術館 発行所 アートダイバー 販売価格 1,800円(税別)</p>
	<p>鹿島茂コレクション フランス絵本の世界 発行数 一般書籍のため未定 販売数 1,478部(館内での会期中販売数) 平成29年9月29日 発行 企画 松下和美(群馬県立館林美術館) 浜崎加織(東京都庭園美術館) 著者 鹿島茂 発行所 株式会社青幻舎 販売価格 3,200円(税別)</p>
	<p>ブラジル先住民の椅子—野生動物と想像力 発行数 一般書籍のため未定 販売数 3,144部(館内での会期中販売数) 平成30年6月30日 発行 編集 東京都庭園美術館、埼玉県立近代美術館 美術出版社 デザインセンター 発行:株式会社美術出版社 販売価格 2,222円(税別)</p>
	<p>エキゾティック×モダン アール・デコと異境への眼差し 発行数 1,350部(巡回展共通制作のうち当館分) 販売数 610部 平成30年10月6日 発行 企画 関 昭郎(東京都庭園美術館) 田中雅子(東京都庭園美術館) 松下和美(群馬県立館林美術館) 編集・発行:東京都庭園美術館、群馬県立館林美術館 販売価格 2,500円(税込)</p>
	<p>岡上淑子 フォトコラージュ 沈黙の奇蹟 発行数 一般書籍のため未定 販売数 4,494部(館内での会期中販売数) 平成30年2月11日 第1刷発行 著者 岡上淑子 監修・執筆 神保京子(東京都庭園美術館) 発行所 株式会社青幻社 販売価格 3,000円(税別)</p>
	<p>東京都庭園美術館紀要 2018 平成31年3月31日 発行 発行数 200部(ホームページ上でも公開) 編集/発行 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館 販売価格 無料</p>



6. 各受賞

2018年 美連協大賞「優秀論文賞」(個人表彰)[美連協展部門]

[展覧会名] エキゾテック × モダン アール・デコと異境への眼差し

[受賞者] 関昭郎

[論文名] 『アール・デコとエクゾティスム 一旧朝香宮邸の次の間はどうして漆塗りなのか?』

その他

組織

平成31年3月31日現在

館長	樋田 豊次郎
副館長(学芸)	岡部 友子

管理係

管理係長〔派〕	真田 千春
主任	富田 修江
主事	高橋 さおり
主事	清水 麻子

事業係

事業企画係長(学芸)	関 昭郎
調整担当係長(学芸)	板谷 敏弘
サービス推進担当 係長	藤野 英樹
主任(学芸)	神保 京子
主任(学芸)	田中 実穂
主任(学芸)	大木 香奈
主事(学芸)	浜崎 加織
主事(学芸)	田中 雅子
主事(学芸)	巖谷 睦月



展覧会実績一覧

1983 昭和58年

グッゲンハイム美術館展 1983年10月1日～12月25日(81日)

1984 昭和59年

早春展 1984年2月23日～4月9日(45日)

陽春展 1984年4月14日～4月23日(10日)

コプト美術展 1984年4月28日～6月3日(35日)

'84 初夏—美とのであい 1984年6月16日～7月8日(22日)

ルオー展 1984年9月14日～11月4日(48日)

晩秋展 1984年11月17日～12月23日(35日)

1985 昭和60年

日本画による初春展 1985年1月12日～2月11日(30日)

アレックス・コルヴィル展 1985年2月20日～3月21日(28日)

フランス・コルベール展 1985年4月1日～5月12日(39日)

日本の美 1985年5月19日～6月23日(31日)

アジア近代絵画の夜明け展 1985年7月20日～9月1日(44日)

庭園美術館への誘い 1985年9月12日～24日(13日)

20世紀オーストラリア美術名作展 1985年10月4日～11月6日(32日)

NEW YORK・ニューヨーク 1985年11月17日～12月22日(34日)

1986 昭和61年

回想の江戸・東京展 1986年1月11日～2月23日(42日)

12人の現代彫刻家 1986年3月2日～4月16日(43日)

アントニー・クラーベ展 1986年4月27日～6月30日(61日)

黒田清輝展 1986年7月11日～8月10日(30日)

日本の子どもの本歴史展 1986年8月17日～9月23日(36日)

室町美術と戦国画壇 1986年10月5日～11月9日(34日)

庭園美術館へのいざない パートⅢ 1986年11月20日～12月21日(30日)

1987 昭和62年

日本のガラス造形—昭和 1987年1月10日～3月22日(67日)

アンデスの染織と工芸 1987年4月4日～5月12日(37日)

美しき日本 1987年5月23日～6月30日(36日)

小磯良平展 1987年7月11日～8月30日(48日)

ブルデル/デュフェ 1987年9月12日～11月23日(69日)

「新東京百景」展 1987年11月29日～12月22日(23日)

1988 昭和63年

回想の江戸・東京Ⅱ 1988年1月10日～2月14日(33日)

牧野虎雄・曾宮一念展 1988年2月25日～3月27日(30日)

ルネ・ラリック展 1988年4月5日～5月29日(51日)

パリ・街・人 アジェとカルティエ=ブレッソン 1988年6月4日～7月24日(48日)

西洋美術の名作展 1988年7月31日～9月4日(34日)



ヤン・トーロップ展 1988年9月20日～11月6日(45日)
レオナルド・フジタ展 1988年11月12日～1989年2月21日(90日)

1989 昭和64年 平成元年

東京都江戸東京博物館収蔵品展 1989年3月1日～3月28日(26日)
ヘルムート・ニュートン ポートレート 1989年4月5日～5月14日(37日)
フンデルトワッサー展 1989年5月21日～7月11日(49日)
藤島武二展 1989年7月19日～9月3日(47日)
江戸美術の祝祭 1989年9月14日～10月24日(39日)
国吉康雄展 1989年11月1日～12月24日(51日)

1990 平成2年

旧朝香宮邸のアール・デコ 1990年1月11日～2月4日(24日)
ドイツ・ロマン派の時代展 1990年2月18日～3月25日(34日)
浜口陽三展 1990年4月3日～6月3日(58日)
ルネ・ラリックの香水瓶展 1990年6月16日～8月5日(48日)
古代ギリシャ美術展 1990年8月18日～9月23日(35日)
エドワード・ホッパー展 1990年10月6日～12月16日(67日)

1991 平成3年

ルイス・C・ティファニー展 1991年1月12日～3月17日(61日)
旧朝香宮邸のアール・デコ 1991年3月24日～3月31日(7日)
子どもの本・1920年代展 1991年4月6日～5月26日(47日)
カッサンドル展 1991年6月2日～7月14日(40日)
小磯良平遺作展 1991年7月20日～8月27日(37日)
袱紗展 1991年9月14日～10月13日(28日)
世界の名作展 1991年11月2日～12月20日(46日)

1992 平成4年

ベルリン東洋美術館名品展 1992年1月12日～2月17日(35日)
旧朝香宮邸のアール・デコ 1992年2月29日～3月24日(24日)
バリー・モダン1910-30年代 1992年4月4日～5月24日(48日)
ロバート・メイプルソープ展 1992年6月2日～7月2日(29日)
日本洋画再考展 1992年7月10日～8月5日(26日)
洋画の動乱 昭和10年 1992年8月14日～10月6日(51日)
卓上の芸術 1992年10月17日～12月10日(51日)
旧朝香宮邸のアール・デコ 1992年12月18日～1993年1月21日(25日)

1993 平成5年

ドーム・ガラス展 1993年1月31日～3月15日(41日)
旧朝香宮邸のアール・デコ展 1993年4月3日～4月13日(11日)
長谷川潔展 1993年4月29日～7月7日(66日)
デ・キリコ展1920-1950 1993年7月16日～8月15日(29日)
大正日本画の若き俊英たち 1993年8月21日～9月23日(31日)
アール・デコ様式のセーブル磁器展 1993年10月2日～12月19日(74日)

1994 平成6年

旧朝香宮邸の建築と歴史 1994年1月15日～2月13日(38日)
全国美術館コレクション名品展 1994年3月3日～3月31日(27日)
旧朝香宮邸のアール・デコ展 1994年4月5日～4月17日(12日)



カール・ラーション展 1994年4月23日～5月31日(36日)
 ヨーロッパ工芸新世紀展 1994年6月11日～7月31日(48日)

1995 平成7年

旧朝香宮邸のアール・デコ 1995年3月10日～3月19日(10日)
 フランス宝飾芸術の世界展 1995年4月8日～5月28日(47日)
 レオナルド・ダ・ヴィンチ人体解剖図 1995年6月10日～7月30日(47日)
 アメリカに生きた日系人画家たち 1995年8月12日～10月1日(48日)
 スチュアート・デイヴィス展 1995年10月10日～11月26日(44日)
 エドゥアール・サンド彫刻展 1995年12月7日～1996年2月13日(57日)

1996 平成8年

旧朝香宮邸のアール・デコ 1996年2月24日～3月24日(28日)
 旧朝香宮邸のアール・デコ 1996年4月1日～5月26日(52日)
 林武展 1996年6月15日～7月28日(41日)
 日本工芸の青春期1920s-1945 1996年8月10日～9月17日(36日)
 北大路魯山人展 1996年10月5日～11月24日(48日)
 ジョージ・チネリーと知られざる19世紀広東・マカオ・香港の美術展 1996年12月7日～1997年2月11日(55日)

1997 平成9年

イタリア・バロック絵画展 1997年2月20日～3月30日(36日)
 アルザスとフランス近代美術の歩み 1997年4月5日～5月25日(48日)
 パリ国立オペラ座衣裳展 1997年6月14日～8月17日(61日)
 東南アジア—近代美術の誕生 1997年9月6日～10月12日(34日)
 フォンタネージと日本の近代美術 1997年10月23日～12月14日(50日)
 旧朝香宮邸のアール・デコ 1997年12月21日～1998年1月27日(28日)

1998 平成10年

工芸のジャポニスム展 1998年2月7日～3月24日(43日)
 華麗なる馬たち 1998年4月4日～5月26日(50日)
 イタリアのガラス1930-1970 1998年6月6日～7月26日(47日)
 ザッキン—彫刻と素描展 1998年8月8日～9月27日(47日)
 ジョルジョ・モランディ 花と風景 1998年10月10日～11月29日(47日)
 旧朝香宮邸のアール・デコ 1998年12月12日～1999年3月21日(86日)

1999 平成11年

名画の花束 1999年4月3日～5月30日(54日)
 リバティ・スタイル展 1999年6月12日～7月25日(42日)
 宮本三郎展 1999年8月7日～9月19日(41日)
 パリ・モード1870-1960 1999年10月2日～12月19日(74日)

2000 平成12年

アール・デコと東洋 2000年1月8日～3月21日(69日)
 デペロの未来派芸術展 2000年4月4日～5月23日(47日)
 指輪—ちいさな記念碑の物語 2000年6月7日～8月6日(57日)
 旧朝香宮邸のアール・デコ展 2000年8月19日～10月29日(67日)
 ルネ・ラリック1860-1945展 2000年11月11日～2001年1月31日(69日)



2001 平成13年

- ロシア・アヴァンギャルド展 2001年2月10日～4月1日(47日)
- ジョルジュ・ルース展 2001年4月7日～6月3日(54日)
- ジノリ展 2001年6月16日～8月19日(61日)
- 安田侃—彫刻展 2001年8月25日～9月16日(22日)
- 安田侃—野外彫刻展 2001年4月12日～2002年3月17日併催
- カラヴァッジョ 2001年9月29日～12月16日(76日)

2002 平成14年

- 旧朝香宮邸のアール・デコ展 2002年1月5日～3月17日(67日)
- マジョリカ名陶展 2002年4月4日～6月23日(76日)
- ソニア・ドローネ 2002年7月6日～9月8日(61日)
- ピュイフォルカ展 2002年9月21日～12月1日(68日)

2003 平成15年

- 旧朝香宮邸のアール・デコ 2003年1月4日～4月6日(81日)
- ヨーロッパ・ジュエリーの400年 2003年4月24日～7月1日(65日)
- マリー・ローランサン回顧展 2003年7月19日～9月15日(55日)
- アール・デコ様式 2003年10月1日～2004年2月1日(105日)

2004 平成16年

- パリ1900 2004年2月21日～4月11日(48日)
- シルクロードの装い 2004年4月24日～6月20日(54日)
- 幻のロシア絵本1920-30年代展 2004年7月3日～9月5日(61日)
- エミール・ノルデ 2004年9月18日～11月7日(48日)
- 田原桂—光の彫刻 2004年11月20日～2005年1月23日(54日)

2005 平成17年

- 日本のジュエリー100年 2005年2月5日～4月10日(61日)
- ジェームズ・アンソール展 2005年4月23日～6月12日(47日)
- 八木一夫展 2005年7月2日～8月21日(48日)
- 庭園植物記 2005年9月3日～11月6日(61日)
- 華麗なるマイセン磁器 2005年11月19日～2006年1月22日(55日)

2006 平成18年

- 宇治山哲平展 2006年2月4日～4月9日(61日)
- 北欧のスタイリッシュ・デザイン 2006年4月22日～6月18日(54日)
- 旧朝香宮邸のアール・デコ展 2006年7月8日～10月1日(80日)
- アール・デコ・ジュエリー 2006年10月14日～2007年1月14日(80日)

2007 平成19年

- アルフレッド・ウォリス 2007年2月3日～3月31日(53日)
- 大正シック 2007年4月14日～7月1日(74日)
- 舞台芸術の世界 2007年7月26日～9月17日(51日)
- 世界を魅了した ティファニー 1837-2007 2007年10月6日～12月16日(67日)
- アール・デコの館 2007年12月23・24日/2008年1月12日～14日(5日)



2008 平成20年

建築の記憶 2008年1月26日～3月31日(63日)
 オールドノリタケと懐かしの洋食器 2008年4月17日～6月15日(56日)
 舟越桂 夏の邸宅 2008年7月19日～9月23日(64日)
 アール・デコの館 2008年10月1日～10月13日(13日)
 1930年代・東京 2008年10月25日～2009年1月12日(69日)

2009 平成21年

ポワレとフォルチュニイ 2009年1月31日～3月31日(58日)
 エカテリーナ2世の四大ディナーセット 2009年4月16日～7月5日(76日)
 ステッチ・バイ・ステッチ 2009年7月18日～9月27日(68日)
 パリに咲いた古伊万里の華 2009年10月10日～12月23日(70日)

2010 平成22年

マッキアイオーリ 2010年1月16日～3月14日(54日)
 アール・デコの館 2010年3月25日～4月11日(18日)
 ロトチェンコ+ステパーノワ 2010年4月24日～6月20日(54日)
 有元利夫展—天空の音楽 2010年7月3日～9月5日(61日)
 香水瓶の世界 2010年9月18日～11月28日(67日)
 朝香宮のグランドツアー 2010年12月11日～2011年1月16日(28日)

2011 平成23年

20世紀ポスター[タイポグラフィ] 2011年1月29日～3月27日(50日)
 森と芸術 2011年4月16日～7月3日(74日)
 皇帝の愛したガラス 2011年7月14日～9月25日(70日)
 アール・デコの館 2011年10月6日～10月31日(24日)

2014 平成26年

アーキテクト／1933／Shirokane 2014年11月22日～12月25日(32日)
 内藤礼 信の感情 2014年11月22日～12月25日(32日)

2015 平成27年

幻想絶佳：アール・デコと古典主義 2015年1月17日～4月7日(76日)
 マスク展 2015年4月25日～6月30日(63日)
 アール・デコの邸宅美術館 2015年7月18日～9月23日(64日)
 オットー・クンツリ展 2015年10月10日～12月27日(73日)

2016 平成28年

ガレの庭 2016年1月16日～4月10日(81日)
 メディチ家の至宝 2016年4月22日～7月5日(70日)
 こどもとファッション 2016年7月16日～8月31日(44日)
 アール・デコの花弁 2016年9月22日～12月25日(89日)
 クリスチャン・ボルタンスキー 2016年9月22日～12月25日(89日)

2017 平成29年

並河靖之七宝展 2017年1月14日～4月9日(81日／平成28年度中は72日)
 装飾は流転する 2017年11月18日～2月25日(86日)



2018 平成30年

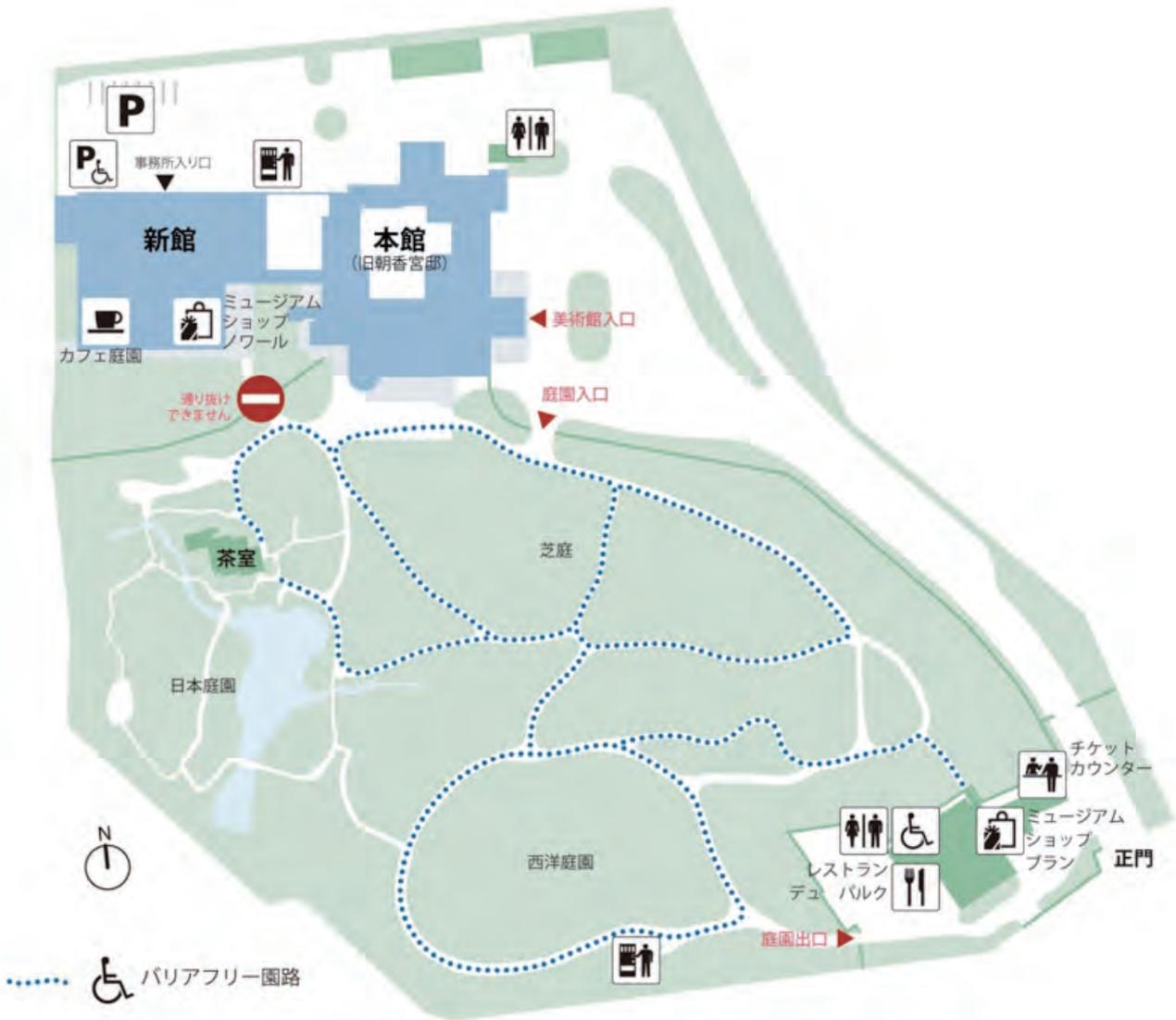
アール・デコ・リヴァイヴァル! 建物公開 旧朝香宮邸物語 2018年3月21日～6月12日(79日/平成29年度中は10日)
フランス絵本の世界 2018年3月21日～6月12日(79日/平成29年度中は10日)
ブラジル先住民の椅子 野生動物と想像力 2018年6月30日～9月17日(75日)
エキゾテック × モダン アール・デコと異郷への眼差し 2018年10月6日～2019年1月14日(86日)

2019 平成31年

岡上淑子 フォトコラージュ 沈黙の奇蹟 2019年1月26日～4月7日(68日/平成30年度中は61日)



施設配置図

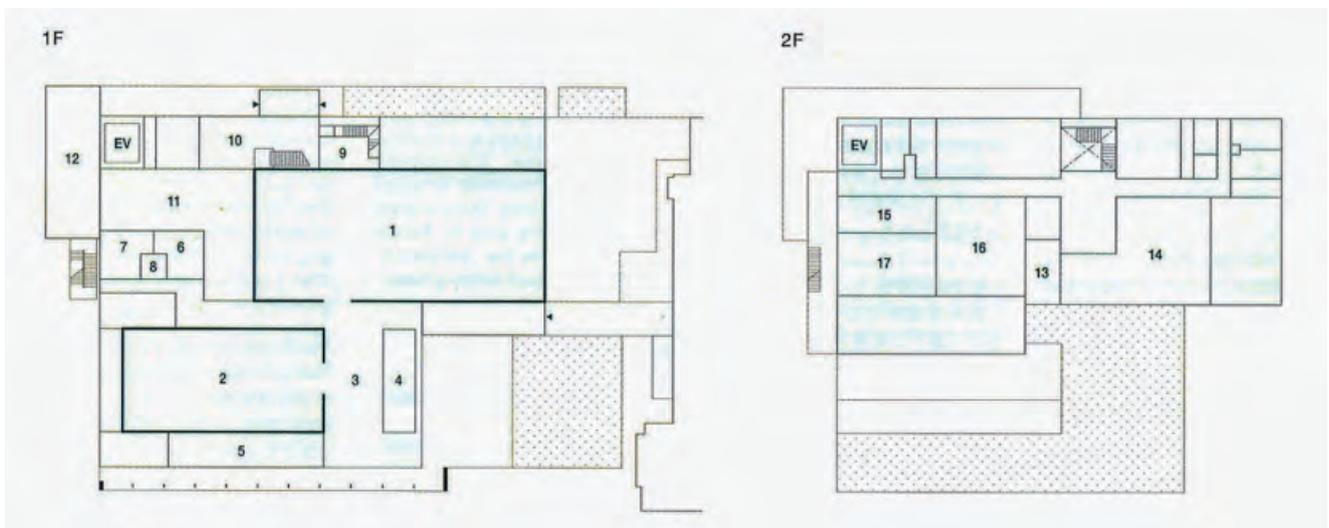




本館(旧朝香宮邸)



新館



茶室

